

令和元年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

令和元年5月9日(木)

ピュアリティまきび

目 次

I 平成 30 年度の取組実績について

1 会議の開催	1
2 重点取組事業	
(1) おかやま・もったいない運動の推進	2
(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	5
(3) 食品ロス削減の促進	13
3 その他普及啓発事業	15

II 令和元年度の取組（案）について

1 会議の開催	17
2 重点取組事業	
(1) おかやま・もったいない運動の推進	18
(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	20
(3) 食品ロス削減の促進	22
3 その他普及啓発事業	23

I 平成 30 年度の取組実績について

1 会議の開催

平成 30 年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 本会議

- ア 日 時 平成 30 年 5 月 14 日 (月) 10:00~12:00
- イ 場 所 ピュアリティまきび 3 階「飛鳥」
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議 題
 - ・平成 29 年度の取組実績について
 - ・平成 30 年度の取組 (案) について 他

(2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日 時 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 13:00~16:00
- イ 場 所 県庁分庁舎 6 階 606 会議室
- ウ 出席者 審査員 4 名 (平島副会長、赤井委員、瀧澤委員、笠原委員)

(3) ワーキング会議

- ア 日 時 平成 31 年 2 月 1 日 (金) 9:30~10:10
- イ 場 所 県庁分庁舎 1 階 101 会議室
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議 題
 - ・平成 30 年度の取組実績について
 - ・平成 31 年度の取組 (案) について 他

(4) 食品ロス削減意見交換会

- ア 日 時 平成 31 年 2 月 1 日 (金) 10:15~12:00
- イ 場 所 県庁分庁舎 1 階 101 会議室
- ウ 出席者 委員、事務局、食品ロス削減関係者
- エ 議 題
 - ・活動内容紹介
 - ・相互質問 他

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた 3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

6月の環境月間及び10月の3R推進月間等に、県内3県民局が管内市町と協働で開催した。

<6月>

- 「1日環境大学」

日 時：平成30年6月2日（土） 10時30分～16時20分

場 所：鏡野町一円

内 容：講演、ウォーク、みつばち教室等

参加者数：約100人（事前予約制）

- 井原市環境フェア

日 時：平成30年6月3日（日） 9時～12時

場 所：井原駅前広場・井原駅ビル [井原市七日市町 944-5]

内 容：体験コーナー、展示コーナー、スタンプラリー等

来場者数：約1,900人

- 「親子エコフェスタ2018」

COOL CHOICE ～未来のために、いま選ぼう～

日 時：平成30年6月10日（日） 10時30分～15時30分

場 所：アルネ津山及び津山中心商店街他 [津山市新魚町及び周辺]

内 容：体験コーナー、展示コーナー等

来場者数：約1,000人

<10月>

- ぐるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～

日 時：平成30年10月21日（日） 9時30分～15時

場 所：玉野市リサイクルプラザ [玉野市槌ヶ原 3072-1]

内 容：体験コーナー、展示コーナー、映画上映等

来場者数：約300人

<11月>

● エコフェスタびぜん

日 時：平成30年11月11日（日） 10時～15時

場 所：鳥ヶ鳴公園[備前市吉永町都留岐211-1]

内 容：体験コーナー、展示コーナー、防災ECO実験教室等

来場者数：約1,000人

● 新見みんなのエコフェスタ2018

日 時：平成30年11月17日（土） 10時30分～14時

場 所：新見市憩いとふれあいの公園[新見市正田330]

内 容：体験コーナー、展示コーナー、大型紙芝居等

来場者数：約500人

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト

県内の小学校、小学生とその家族を対象に、夏休みを中心とした期間に家庭でできる「3R推進」や「地球温暖化防止」に向けた取組にチャレンジした報告を募集し、優秀な取組を表彰した。

● 応募数 28校、773点

● 受賞者 個人の部（最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名）
団体の部（最優秀賞1校、優秀賞3校）

※ 表彰式（「アースキーパーのつどい2018」において開催）

● 日 時：平成30年12月22日（土）11時～12時

● 場 所：岡山コンベンションセンター
2階レセプションホール・ロビー

● 参集者：主催者、受賞者、保護者等 約200名

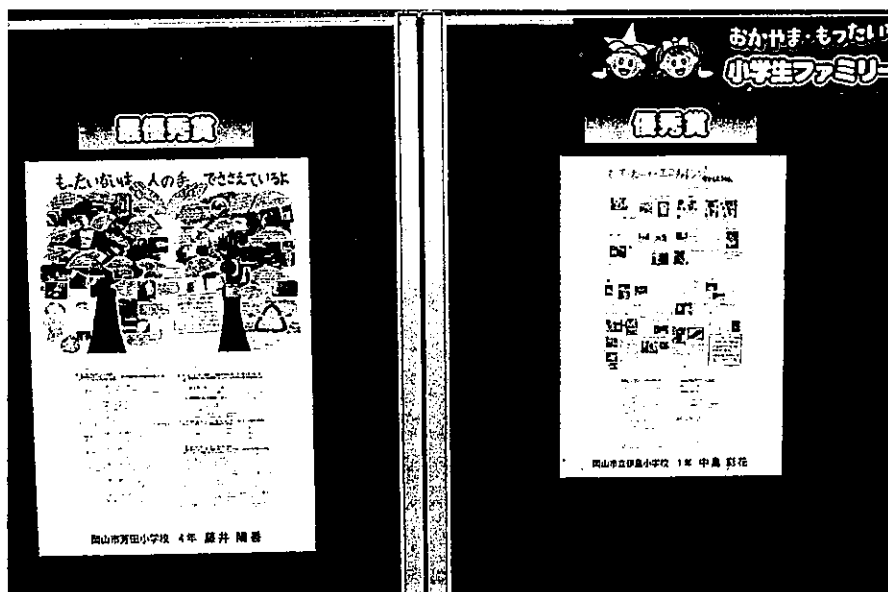
● 内 容：主催者挨拶、表彰状授与、講評、記念撮影 等



※ 作品展示会

平成30年度の受賞作品について、県内4箇所で開催した。

- 倉敷会場
展示期間：平成31年1月19日（土）～24日（木）
展示場所：イオンモール倉敷 1階 ワクワクコート
- 赤磐会場
展示期間：平成31年2月1日（金）～7日（木）
展示場所：赤磐市立桜が丘いきいき交流センター
- 真庭会場
展示期間：平成31年2月13日（水）～19日（火）
展示場所：真庭市立中央図書館
- 県庁会場
展示期間：平成31年2月21日（木）～3月1日（金）
展示場所：県庁1階 県民室



(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組について

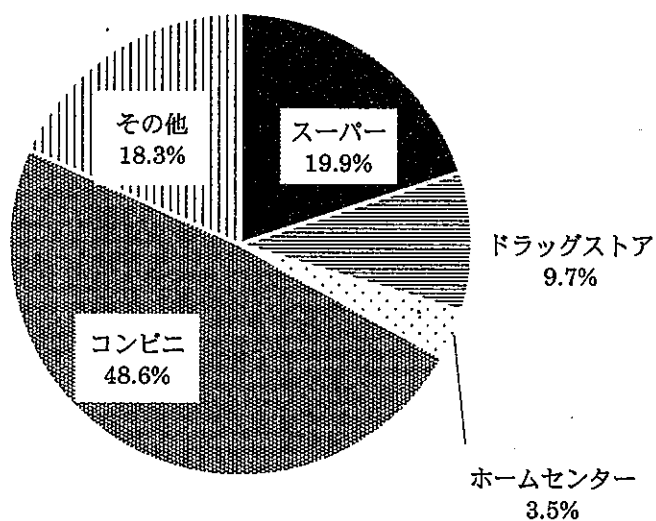
(ア) 参加店舗の現状

現在の参加店舗数は、1,578店舗（平成31年4月8日現在）で、昨年度同期の1,531店舗に比べ47店舗増加している。

内訳は、チェーン店などのグループ店が1,405店舗（89.0%）、個人の小売店が173店舗（11.0%）で、業態別では、スーパーマーケットが314店舗（19.9%）、ドラッグストアが153店舗（9.7%）、ホームセンターが55店舗（3.5%）、コンビニエンスストアが767店舗（48.6%）、その他が289店舗（18.3%）となっている。

市町村別では、新庄村、西粟倉村以外の25市町に参加店があり、岡山市が39.7%と一番多く、次いで倉敷市が21.8%、津山市が6.0%となっている。

<業態別内訳>



<市町村別内訳（上位10市）>

	市町村名	店舗数	構成比
1	岡山市	626	39.7%
2	倉敷市	344	21.8%
3	津山市	95	6.0%
4	新見市	53	3.4%
5	真庭市	47	3.0%
6	総社市	45	2.9%
7	玉野市	43	2.7%
8	赤磐市	42	2.7%
9	瀬戸内市	36	2.3%
10	笠岡市	35	2.2%

(イ) レジ袋辞退率の推移

平成31年2月の平均辞退率は24.3%で、4月～2月までの辞退率は、22%台～25%台となっている。

実施日	H30. 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H31. 1月	2月
平均辞退率 (%)	24.9	22.8	23.0	23.0	22.8	23.8	23.1	24.1	23.9	25.7	24.3
スーパーマーケットの辞退率 (%)	25.0	23.8	24.2	23.8	23.5	24.0	23.1	23.8	23.6	24.4	24.3

(ウ) 普及啓発の状況

① 若い世代へ働きかける各種啓発を行った。

- ・小学生・・・環境学習に取り組む県内の小学校4年生約2万人にクリアファイルを配布した。
- ・大学生・・・入学式での啓発（13大学約3,200人にチラシ等配布）、
「おかやまマイバッグキャンペーン」岡山駅啓発への参加
（山陽学園短期大学）を呼びかけた。
- ・新成人・・・成人式での啓発（24市町村約7,500人にチラシ配布）

② イベントでの普及啓発

巡回エコ製品等普及展示会やおかやま・もったいない運動推進フォーラムで、展示や来場者への啓発品の配布などを行った。



(平成30年6月3日 井原市)



(平成30年6月10日 津山市)

③ テレビ、ラジオ、広報紙等の広報媒体の活用

「岡山県統一ノーレジ袋デー」については、OHK テレビ、RSK ラジオ、FM おかやまでのお知らせ、県政広報資料、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック掲載などにより周知を図った。

(エ) 啓発資材の作成及び送付

啓発グッズ（のぼり旗、ポスター、ステッカー、チラシ、辞退カード）を、希望する事業者（店舗）、市町村等に送付した。

のぼり旗



ポスター・チラシ



ステッカー



辞退カード



イ おかやまマイバッグキャンペーンの取組について

(ア) 街頭や店頭での普及啓発活動

県循環型社会推進課、各県民局、各市町村などが主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、6月と11月にJR岡山駅及び県内各参加店舗の店頭等において、チラシ及び啓発品等を配布し、普及啓発活動を実施した。

- JR岡山駅前（6月8日）
県（備前県民局と合同）・岡山市



(イ) 新聞、ラジオ、広報紙等などの広報媒体の活用

RSK ラジオ、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック等で「おかやまマイバッグキャンペーン」についてお知らせした。

また、各市町村発行の広報紙等において広報を行った。

- 広報紙



◆問い合わせ先
美作市くらし安全課
☎(72)5202

買い物に行く際にはマイバッグを持参し、レジ袋の削減にご協力ください。

買った物を出さなごみの減量だけでなく、地球温暖化の防止にもつながります。

岡山県では、レジ袋の削減を通して環境にやさしいエコ・ライフスタイルを広めることを目的とし、11月に「おかやまマイバッグキャンペーン」を実施します。

おかやまマイバッグ
キャンペーン

(ウ) 啓発資材の作成及び送付

「おかやまマイバッグキャンペーン」の普及啓発を目的とし、啓発ポスターを作成するとともに参加事業者（店舗）及び市町村等に送付した。

また、「マイバッグ持参」を基調としたチラシ及びティッシュを作成し、市町村等に送付した。

ポスター



チラシ



ポケットティッシュ



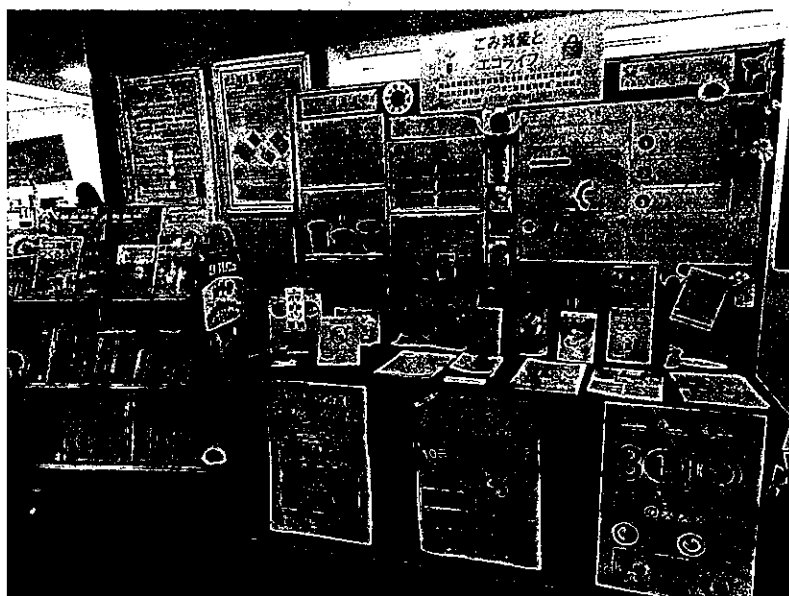
(エ) 岡山県立図書館連携展示

県立図書館1階エントランス付近において、ポスター等印刷物、関連図書等を展示することにより、普及啓発及び情報提供を行った。

- 平成30年5月22日（火）～6月17日（日）

「ごみ減量とエコライフ」

展示内容：マイバッグ運動、環境月間、3R、食品ロス削減等



連携展示「ごみ減量とエコライフ」(H30.5.22～6.17)

ウ マイバッグ持参率等アンケート調査について

マイバッグ持参率等を把握するため、平成 31 年 1 月～3 月に県内 15 店舗において、株式会社東京商工リサーチ岡山支店に委託実施した。

- (ア) 調査数 合計 3,000 人(1 店舗につき 200 人)
- (イ) 調査方法 買物客への聞き取り調査又は直接記入
- (ウ) 結果 マイバッグ持参率 46.5%

エ 県内のレジ袋無料配布中止の状況について

(ア) 実施状況

現在、レジ袋無料配布中止を実施しているのは、16 事業者 33 店舗である。
(県把握分)

市町村別レジ袋無料配布中止店舗一覧

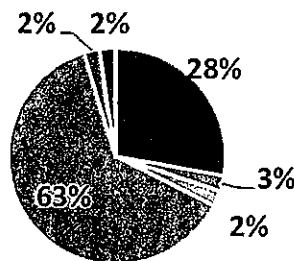
*平成 31 年 1 月 15 日現在

市町村名	事業者名	店舗名	備考
岡山市	イオンリテール(株)	イオン岡山店	1 枚 LL5 円、L3 円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ大野辻	1 枚 5 円(募金方式)
		コープ大福	
		コープ西大寺	
		コープ東川原	
		コープ福富	
	大黒天物産(株)	ディオ岡山北店	1 枚 3 円
(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル東岡山店	1 枚 3 円	
(株)ミスターマックス	ミスターマックス岡山西店	1 枚(大)5 円、(中)3 円	
エコロジー&ナチュラルフーズらんらん亭	—	1 枚 金額任意(募金方式)	
倉敷市	イオンリテール(株)	イオン倉敷店	1 枚 LL5 円、L3 円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ北畝	1 枚 5 円(募金方式)
		コープ倉敷北	
	大黒天物産(株)	ディオ真備店	1 枚 5 円
(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル倉敷店	1 枚 3 円	
津山市	イオンリテール(株)	イオン津山店	1 枚 LL5 円、L3 円
	大黒天物産(株)	ラ・ムー津山店	1 枚 5 円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ林田	1 枚 5 円(募金方式)
総社市	生活協同組合おかやまコープ	コープ総社東	1 枚 5 円(募金方式)
備前市	(株)ヒナセショッピングセンター	旬鮮食彩館 パオーネ日生店	1 枚 (大)5 円 (小)3 円
赤磐市	生活協同組合おかやまコープ	コープ山陽	1 枚 5 円(募金方式)

浅口市	生活協同組合おかやまコープ	コープ鴨方	1枚 5円(募金方式)
和気町	岡山東農業協同組合	JAグリーン和気店	1枚 5円
		JAグリーン佐伯店	
		和気営農物流センター	
	オプタイムおか	—	1枚 5円
	グリーンストアーさわだ	—	1枚 5円
	(株)コメリ	コメリハードアンドグリーン 和気店	1枚 5円
	(株)太陽コーポレーション	サンモール店	1枚 5円
	(株)天満屋ストア	ハッピーマート和気店	1枚 5円
	(有)林薬局	林薬局	1枚 5円
	(有)ビッグモリーズ	ビッグモリーズ	1枚 5円
マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ和気店	1枚 5円	

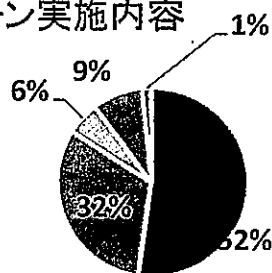
オ 事業者へのアンケート

問1 キャンペーン期間中の変化



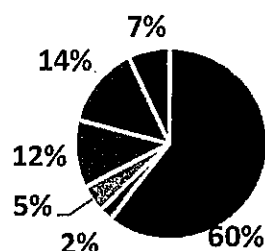
- ① レジ袋を受け取らない人(マイバッグを持参する人)が増えた。28%
- ② 苦情が増えた。3%
- ③ 万引きが増えた。2%
- ④ 特に変化はなかった。63%
- ⑤ その他 2%
- ⑥ 無回答 2%

問2 キャンペーン実施内容



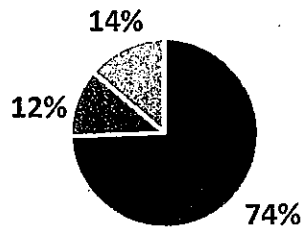
- ① ポスターの掲示 52%
- ② レジでの声かけ 32%
- ③ 店頭啓発活動の受け入れ 6%
- ④ その他 9%
- ⑤ 無回答 1%

問3 今後の取組



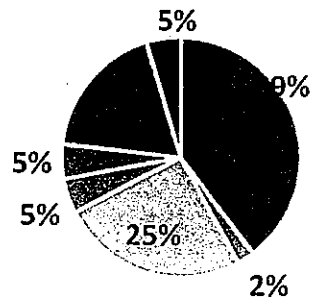
- ① 来年度も同様に6月と11月に強化月間を設ける。60%
- ② 来年度も同様に2回強化月間を設けるが、実施時期を変更する。2%
- ③ 来年度も強化月間を設けるが、実施期間や実施回数を変更する。5%
- ④ 「岡山県統一ノーレジ袋デー」(毎月10日実施)のみとする。12%
- ⑤ その他 14%
- ⑥ 無回答 7%

問4 レジ袋削減の支障



- ① ない 74%
- ② ある 12%
- ③ 無回答 14%

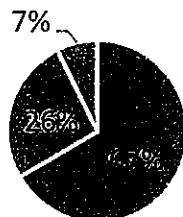
問5 無料配布中止についての考え



- ① 当面、実施しない。今後、実施する見込みもない。 39%
- ② 当面、実施しないが、他に(1社でも)実施希望の事業者(店舗)があれば、実施したい。 2%
- ③ 当面、実施しないが、多くの実施希望の事業者(店舗)があれば、実施したい。 25%
- ④ 現在、実施を検討中。 5%
- ⑤ 既に実施中。 5%
- ⑥ その他 19%
- ⑦ 無回答 5%

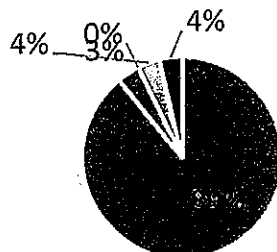
カ 市町村へのアンケート

問1 キャンペーンの効果



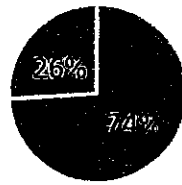
- ① マイバッグを持参する意識が高まったと感じた。 67%
- ② 特に効果は感じなかった。 26%
- ③ その他 7%

問2 今後の取組



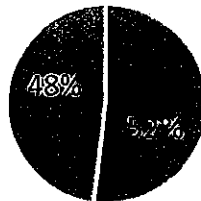
- ① 来年度も同様に6月と11月に強化月間を設ける。 89%
- ② 来年度も同様に2回強化月間を設けるが、実施時期を変更する。 4%
- ③ 来年度も強化月間を設けるが、実施期間や実施回数を変更する。 0%
- ④ 「岡山県統一ノーレジ袋デー」(毎月10日実施)のみとする。 4%
- ⑤ その他 4%

問3 レジ袋削減取組の支障



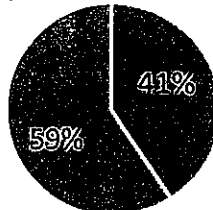
- ① ない 74%
- ② ある 26%

問4 レジ袋削減取組の更なる必要性



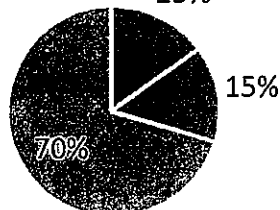
- ① ない 52%
- ② ある 48%

問5 食品ロス削減の取組



- ① ない 41%
- ② ある 59%

問6 全国ネットワークについて



- ① 参加している 15%
- ② 参加してみたいが、どのようなものかよくわからない 15%
- ③ 参加しない 70%

(3) 食品ロス削減の促進

日本では、年間 2,842 万トンの食品廃棄物等が出されており、このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は 646 万トンもあるといわれている。(環境省・農水省「平成 27 年度推計」)

こうした状況を受け、県でも、食品ロスの削減を県民に広く呼びかけている。

◎おかやま 30・10 運動

「30・10 (さんまる いちまる) 運動」とは・・・

- ・宴会時に最初の 30 分、最後の 10 分は席に座り、料理をおいしくいただき、食べ残しを減らす運動。
- ・平成 23 年 (2011 年) に長野県松本市が提唱し、多くの自治体に広がっている。

○夏のおかやま 30・10 運動 - のこサマ〜で〜♪

- ・取組期間：平成 30 年 5 月 1 日～8 月 31 日
- ・キャンペーン：佐藤副知事、部幹部が、経済団体等に対し、取組への参加要請を行った。

○冬のおかやま 30・10 運動 - おいしく残さず食べきろう！

- ・取組期間：平成 30 年 12 月 1 日～平成 31 年 1 月 31 日
- ・キャンペーン：部幹部が、経済団体等に対し、取組への参加要請を行った。
- ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」が行う全国一斉の「外食時の『おいしい食べきり』全国共同キャンペーン」に合わせて呼びかけを実施した。

◎のこさずたべよう促進事業

○のこさずたべよう料理レシピコンテスト (平成 30 年 7 月 16 日～9 月 18 日募集)

- ・43 作品 (ごはん部門 28 作品・おやつ部門 15 作品) の応募。
- ・1 次審査 (書類審査) 及び 2 次審査 (試食審査) の結果
ごはん部門 1 作品・おやつ部門 1 作品の最優秀作品と、
ごはん部門 4 作品・おやつ部門 4 作品の優秀作品が選ばれた。

○のこさずたべよう料理レシピ集作成 (平成 30 年 11 月 2 日から配布)

- ・上記コンテストにおける最優秀作品及び優秀作品 10 作品を掲載したもの

○サルベージ・パーティ® (平成 30 年 10 月 14 日実施)

- ・岡山ふれあいセンター・調理実習室にて、事前登録の 24 名が参加
- ・フレンチレストラン VIGNETTE の宮地シェフと一緒に「のこりもの食材」を美味しい料理に変身させ、参加者と一緒に食べきるパーティ

○食べて知ろう・食品ロス削減展 (平成 30 年 11 月 3 日実施)

- ・岡山市北区表町 Café&Space「KOTYAE」にて、約 200 名が参加
- ・「のこさずたべよう料理レシピ集」の配布や食品ロス削減パネル展示等
- ・おやつ部門最優秀作品の「MOTTAINAI・カムカム揚げ」、おやつ部門優秀作品の「どーなっとう？」を試食配布

◎地域を学んでのこさずたべよう事業

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、食品がつくられるまでの労力や食品がうまれてくる地域の土壌・気候・風土等に係る研究フィールドワーク、若者の視点や発想を生かした小学生が取り組みやすい教材の作成及び小学校への出前講座等について、大学の研究室等が行う研究活動を支援した。

○山陽学園短期大学【和気町立本荘小学校・5年】（平成30年9月18～19日）

○ノートルダム清心女子大学【倉敷市立天城小学校・2年】

（平成30年11月8～9日）

○岡山大学【新見市立利部小学校・4年】（平成30年12月6日）

◎みんなでチェック！わが家のごみ - ごみ削減プロジェクト

平成30年10月1日～11月30日までの期間、食品ロス削減等を意識し、工夫しながらごみ削減に取り組んでいただくことを目的とした県民参加プロジェクトを実施した。

◎食品ロス削減ヒント集「食品と家計のもったいないを減らそう！」改訂版

各家庭で食品ロスを減らすポイントとなる「買いすぎず」「使いきる」「食べきる」の3つの切り口で具体的なアクションを分かりやすく記載した小冊子の改訂版を作成した。

◎その他啓発

- ・新聞広告の掲載、啓発資材の作成、ホームページ掲載等
- ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」との連携（事務局：福井県）

平成30年12月1日
山陽新聞朝刊掲載

3 その他普及啓発事業

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達促進等を図るため、「岡山エコ事業所認定制度」(ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店)の周知を図るとともに認定を実施した。

○ 認定件数 (平成31年3月31日現在)	254事業所
・ 排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	56事業所
・ 再生品を使用する「一般事業所」	40事業所
・ 再生品等を販売する「小売店」	158事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需用を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○ 認定件数 (平成31年3月31日現在)	381製品
-----------------------	-------

*巡回エコ製品等普及展示会等において、岡山県エコ製品認定制度と岡山エコ事業所認定制度のPRを同時に行った。

	(開催日)	(来場者数)
ア 井原市環境フェア (井原市)	平成30年6月3日	約1,900人
イ 親子エコフェスタ2018 (津山市)	平成30年6月10日	約1,000人
ウ おかやまテクノロジー展2019 (岡山市)	平成31年1月24~25日	10,136人

*常設展示 (テクノサポート岡山)

(ア) 展示期間 平成25年7月~

(イ) 展示場所 テクノサポート岡山 1F (アルコープ) 展示室
(岡山市北区芳賀5301)

*その他、県のホームページへの掲載、普及啓発パンフレット・ポスターの作成、配布、DVDの作成、動画公開等の各種広報を行った。

(3) 海ごみ対策の普及啓発

ア 平成 27 年度から、国庫補助金を活用し、市町村の海ごみ対策支援を実施するとともに、平成 28 年 3 月に「岡山県海岸漂着物等対策推進地域計画」を策定。

イ 平成 28 年度からは、国庫補助金を活用し、市町村への補助に加え、県として普及啓発事業を実施。

・啓発資材の作成等

海ごみ回収ハンドブック・リーフレット等の増刷
新聞への啓発広告の掲載

・県下全域での写真等展示会の開催

「写真や引揚物で知る海ごみ展示会

～私たちのポイ捨てが瀬戸内海の家ごみになっている！？～

◆平成30年8月20日～26日、きらめき広場・哲西

◆平成30年11月15日～21日、天満屋ハピータウン岡南店

◆平成30年12月1日～6日、イオンモール津山

◆平成31年1月19日～24日、イオンモール倉敷

◆平成31年2月1日～7日、赤磐市立桜が丘いきいき交流センター

◆平成31年2月13日～19日、真庭市立中央図書館

・海ごみフォーラムの開催

瀬戸内海沿岸県との連携によるフォーラムを実施

時期：11月23日

会場：岡山国際交流センター

II 令和元年度の取組(案)について

1 会議の開催

(1) 本会議

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| ア 日時 | 令和元年5月9日(木) |
| イ 場所 | ピュアリティまきび |
| ウ 出席者 | 委員、事務局 |
| エ 議題 | ・平成30年度の取組実績について
・令和元年度の取組(案)について |

(2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- | | |
|-------|---------|
| ア 日時 | 令和元年10月 |
| イ 場所 | 岡山市内 |
| ウ 出席者 | 審査員4名 |

(3) ワーキング会議

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| ア 日時 | 令和2年1月下旬~2月頃 |
| イ 場所 | 岡山市内 |
| ウ 出席者 | 委員、事務局 |
| エ 議題 | ・令和元年度の取組実績について
・令和2年度の取組(案)について |

(4) プラスチック3Rに関する意見交換会 必要に応じて開催する。

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、令和元年度は次のとおり行う。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

- 目的：

「循環型社会形成（もったいない）」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の3R関連施策や環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

3県民局ごとに実施する「環境保全普及啓発事業」に併せて実施する等地域の状況に応じた内容で実施する。

- 開催時期：令和元年5月～令和2年3月（予定）
- 会場：3県民局管内各2～5箇所（予定）
- 参加者：県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員等

プログラム（例）

- ・基調講演：講師（全国的な知名度があり、造詣が深い人）
- ・活動事例発表：「もったいない」の取組を実践している団体・学校、企業
- ・展示コーナー：

岡山県エコ製品、岡山エコ事業所、3R、マイバッグ運動、食品ロス削減、海ごみ等の県の施策とともに、環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容を展示・紹介するブースを設ける。

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催

- 目的：もったいない精神の普及、3Rに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象として家庭で3Rや地球温暖化防止に向けた取組を行うコンテストを実施する。
- 主催等

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議・公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

- 対象者：県内に住んでいる小学生とその家族
- 募集方法：5月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付
- 応募期限：令和元年9月17日（火）
- 取組内容：
 - 令和元年8月31日までの1週間、小学生とその家族が、買物、食事、入浴など家庭での日常生活を通じて、ごみの減量や省エネ等に向けた改善策を工夫し実践する。
 - (A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組
 - (B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組
- 応募方法：取組結果を報告用紙に記入の上、提出
- 表彰：
 - (個人の部)
 - ・最優秀賞 1名 表彰状・副賞（5千円相当）
 - ・優秀賞 5名 表彰状・副賞（3千円相当）
 - ・努力賞 10名 表彰状・副賞（2千円相当）
 - ・参加賞 応募者全員
 - (団体の部)
 - ・最優秀賞 1学校 表彰状・副賞（1万円相当）
 - ・優秀賞 若干 表彰状・副賞（5千円相当）
- 選考方法：
 - 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において審査の上、決定
- 表彰式：令和元年12月(予定)に岡山市内で行う。

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デー

毎月10日を岡山県統一ノーレジ袋デーとして、マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を全県的に実施する。

- 事業者の役割
 - ・レジ精算時に「声かけ」を行い啓発する。（レジ袋辞退カードの活用）
 - ・店頭などに、のぼり旗、ポスター等を掲出して啓発する。
 - ・「ノーレジ袋デー」当日のレジ袋辞退率を算定し、県に報告する。
- 消費者・環境団体等の役割
 - ・店舗の店頭等で、「声かけ」、「チラシ配布」などの啓発活動を行う。
- 行政（県・市町村）の役割
 - ・広報紙やポスター等の啓発資材により広報・啓発する。（県・市町村）
 - ・消費者・環境団体等が行う店頭啓発活動を支援する。（市町村）
 - ・統一的な啓発資材（のぼり旗、ポスター等）を作成し、配布する。（県）
 - ・事業者から報告されたレジ袋辞退率をとりまとめて公表する。（県）

イ おかやまマイバッグキャンペーン

県、各市町村が主体となり、消費者・環境団体、事業者（店舗）と協力して、街頭や店頭でのレジ袋削減の普及啓発活動（PR）を実施する。

- 期間：令和元年6月及び11月
- 場所：街頭（JR等の駅前）や参加事業者（店舗）の店頭など
- 内容：
 - チラシやポケットティッシュ等の啓発グッズを配布するなど普及啓発活動（PR）を行い、一般県民（住民）に協力を呼びかける。

- 事業者（店舗）
 - 行政からの要請があれば、店頭の一部を無料で提供
 - 声かけ、ポスター掲示等の協力
- 消費者・環境団体等
 - 行政からの要請があれば、啓発活動（PR）に協力
- 行政（県・市町村）
 - ・広報紙などへの掲載（文例は県で作成し、市町村へ提供）
 - ・PRを行う場所の選定及び調整
 - ・街頭や店頭等での普及啓発活動
 - ・消費者・環境団体等が行う啓発活動の支援
 - ・普及啓発活動（PR）のプレス発表

ウ 若者層への啓発

環境学習時や自主的な買い物行動が増えていく時期に「マイバッグ持参」の意識を高める。

- ・小学4年生への啓発品（クリアファイル）配布（約18,000人）
- ・街頭啓発等への大学生の参加呼びかけ
- ・大学入学式での啓発（合計11大学 約4,000人にマイバッグとチラシを配布）
- ・各市町村成人式での啓発（チラシ等配布）

エ 啓発資材の作成及び送付

のぼり旗、ポスター、チラシ、ステッカー、レジ袋辞退カード等啓発グッズを作成し、参加事業者（店舗）、市町村等に送付する。

また、家庭内で児童から家族へ働きかけてもらうため、環境学習に取り組む小学校4年生の児童（県内約18,000人）に啓発品（クリアファイル）を配布する。

オ レジ袋無料配布中止(有料化)の取組

レジ袋無料配布中止を行う事業者を広報等で支援するとともに、レジ袋削減のためのポイント付与等を実施している事業者の取組について県のホームページやフェイスブックで引き続き紹介し、実施に向けての推進方策を検討していく。

カ 令和元年度のマイバッグ持参率の目標値

以上の啓発活動により、「マイバッグ持参率50%以上」を目指す。

◎マイバッグ持参率等アンケート調査 <マイバッグ持参率の推移>

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	令和元 (目標)
持参率	44.1%	45.2%	43.3%	44.5%	46.2%	45.8%	46.4%	48.0%	46.5%	50.0%以上

(3) 食品ロス削減の促進

◎事業系食品ロス削減モデル事業

①食品ロス削減可能性調査

食品ロスの50%以上を占める事業系食品ロスについて、県内の食品ロスの発生状況や食品関連事業者の意識調査、食品取扱量の多い県内外のフードバンクのヒアリングを行い、フードバンクと連携した食品ロス削減の可能性を検討する。

②セミナー等の開催

食品関連事業者がフードバンクを利用する際の課題を整理し、フードバンク利用の意識を醸成するためのセミナーや検討会を開催する。

③食品ロス削減コーディネート事業

食品関連事業者とフードバンクをつなぐ食品ロス削減コーディネート事業を実施する。

◎地域を学んでのこさずたべよう事業

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、食品がつくられるまでの労力や食品がうまれてくる地域の土壌・気候・風土等に係るフィールドワークによる研究、若者の視点や発想を生かした小学生が取り組みやすい教材の作成及び小学校への出前講座等について、大学の研究室等が行う研究活動を支援する。

◎みんなでチェック！わが家のごみ

一般家庭を対象に、自分の家庭のごみ発生量を把握することにより、ごみの削減意識の呼び起こしを図る。効果的なごみ減量化方法を提示しながら参加家庭を募集し、参加家庭は、家庭内のごみの発生量を測定し、発生量及び減量化の工夫とともに報告する。ごみを計測することによる「見える化」でごみ削減意識の高揚を図る。

◎食品ロス・家庭ごみ削減ヒント集（増刷）作成

一般家庭向けに食品ロスについての意識を高めるための啓発資材として、家庭で取り組める方策を提示する小冊子を作成・配布する。

◎おかやま30・10運動

宴会時に最初の30分、最後の10分は席に座り、料理をおいしくいただき、食べ残しを減らす運動につき、引き続きPRにつとめる。

◎その他啓発

- ・新聞広告の掲載、啓発資材の作成、ホームページ掲載等
- ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」との連携

3 その他普及啓発事業等

(1) 岡山エコ事業所（一般事業所・小売店・ゼロエミッション事業所）認定制度や認定事業所の取組及び岡山県エコ製品認定制度を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。

(2) 3R推進につながる各種取組の情報提供を行う。

(3) 県立図書館連携展示 令和元年5～6月頃

(4) 海ごみ対策

・海と川と山、環境と文化をつなぐ美化意識啓発事業

① 災害由来の海ごみの回収・処理方法検討事業

災害に由来する海ごみの回収・処理方法について、先進事例等を収集整理した上で、対応方策を検討する。

② 三大河川流域啓発リレーの実施（県内9か所・3大河川×3団体）

三大河川流域市町村と連携し、清掃活動とともに、各地域の環境・文化等の特性を踏まえた環境学習を実施し、下流から上流へ意識のたすきをつなげていく。

③ 海ごみフォーラムの開催（県内1回開催）

自治体やNPO法人等による海ごみ対策の先進的な取組事例の紹介や、基調講演等を行うフォーラムを瀬戸内海沿岸県と連携し開催

④ 海ごみ啓発資材の作成、広報媒体掲載（山陽新聞2回掲載）

実施に当たっては、マイクロプラスチックに重点を置き、日常生活におけるプラスチックごみの排出抑制の観点から、マイバッグ運動とも関連を持たせた内容とする。

⑤ 海ごみ対策の県市町村連絡調整会議の開催

・海ごみクリーンアップ事業

市町村による海ごみの回収、処理及び発生抑制対策に係る事業費について、補助金として交付する。

(5) プラスチック3Rの推進

① 海ごみ削減のための発生抑制対策モデル事業

海ごみの原因となる河川ごみの発生・処理状況の調査を行い、マイクロプラスチックをはじめとする海ごみ削減につながる発生抑制対策の検討を行う。

② 廃プラスチック削減に係る調査・分析

環境への影響が懸念される廃プラスチックの県内の発生・処理状況の調査や個別事業者の動向調査、他県の先進事例などの調査を行い、県内の廃プラスチックの最終処分量の削減に向けた有効な対策の検討を行う。

③ プラスチック製品3R推進セミナー

世界のプラスチック対策についての動きや、県内のプラスチックの処理状況、プラスチック製品が環境に及ぼす影響等について県民にわかりやすく周知するセミナーを開催するとともに、啓発資材を作成し、プラスチック3Rへの意識の醸成につなげる。

